TEENS 便り

2026年 秋 No.41



作品提供：ペンネーム YO さん
（京都市立開建高等学校）

開建高校図書委員とのコラボ本棚 特集

テーマ:『しっとり(夜に読みたくなる本)』

開催期間:10月30日(金)から11月30日(月)まで

場所:吉祥院図書館 一般閲覧席

京都市立開建高等学校の図書委員さんがテーマを決めて、本を選び、POPを作成から飾り付けまでをした本棚を、吉祥院図書館にて展示しています。
気になる本は借りることができます。ぜひご来館ください。

今回は、高校生が選んだ本の中から一部をご紹介します。



ダニエル・キイス/著、小尾 芙佐/訳

『アルジャーノンに花束を』

(早川書房)

32歳のチャーリイ・ゴードンは幼児なみの知能しかない。そんな彼は頭が良くなるという手術を受けることとなる。手術を受けたチャーリイの知能はみるみる向上していくが……。

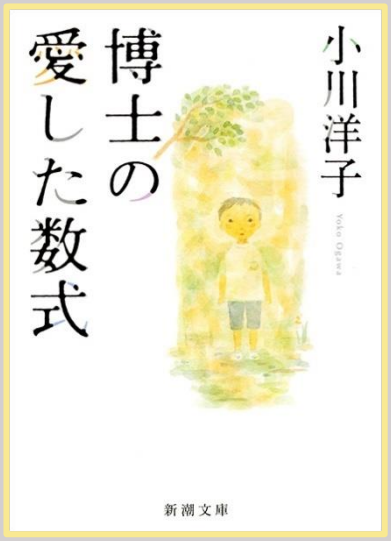


辻村 深月/著

『かがみの孤城』

(ポプラ社)

学校に行けなくなり家に閉じこもっていた“こころ”。ある日、光り輝く鏡を導かれるままにくぐり抜けると、そこには素敵な城と似た境遇の子どもたちがいた。こころ達は願いを叶えるために、城の中に隠されているという鍵を探し始める。

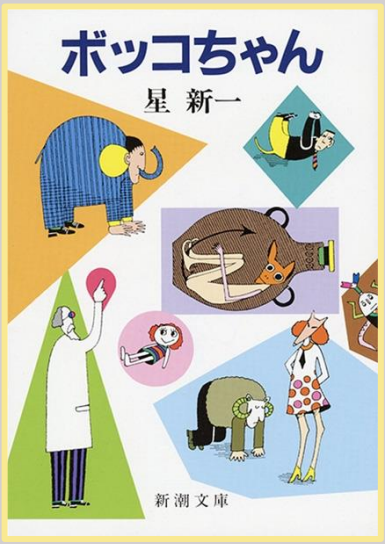


小川 洋子／著

『博士の愛した数式』

（新潮文庫刊）

“私”が新しく家政婦としてお世話をすることになったのは、80分しか記憶を維持することができない博士だった。“私”と“私”の息子、そして博士の3人が過ごす、切なくて、でもとても温かい日々を描いた作品です。



星 新一／著

『ボッコちゃん』

（新潮文庫刊）

1つの話が約5ページで終わる「ショートショート」が50話つまった作品集です。最初の話から読むもよし、目次を見て気になる話から読むもよし。
お好きな方法でお楽しみください。



森田 碧／著

『余命一年と宣告された僕が、
余命半年の君と出会った話』

（ポプラ社）

「命の期限」が迫る中、日々を紡いでいく主人公と、その周りの人々のお話。涙がこぼれても大丈夫なように、ひとりになれる場所で読むのがおすすめです。

書影は、出版社の許諾を得て掲載しています。



吉祥院図書館 teen’s ウィーク
毎月開催中です！

吉祥院図書館 teen’s ウィークってなに？



毎月１０日～１９日（teen）に、
吉祥院図書館ティーンズコーナーにて
開催しています。
ティーンズ世代の皆さんに読んでほしい
本を、テーマに沿って展示しています。
ご来館の際はぜひお立ち寄りください。

京都市吉祥院図書館

〒601-8349　京都市南区吉祥院池田町１
（市バス「吉祥院前田町」）
電話番号：681-1281　FAX：681-3202
開館時間：
月・水・金・土・日曜日、祝日は９時３０分～１７時
木曜日（祝日除く）は１１時３０分～１９時

